

総合リハビリテーションセンター・みどり病院 オプトアウト書式

①	研究課題名 (申請番号)	回復期リハビリテーション病棟における入院時訪問の有効性を考える
②	研究の目的と概要	当院回復期リハビリテーション病棟での入院時訪問指導の効果を患者、スタッフそれぞれの観点から検証すること。
③	利用する情報	当院回復期リハビリテーション病棟での入院患者データを後方視的に情報収集します。 Medi-Aibis 及びタックリハビリテーション支援システムデータ ・調査項目：基本属性（年齢、性別、在院日数、入院時 FIM、退院時 FIM） アウトカムに係る値 FIM 利得（運動、認知、合計）
④	対象者と対象期間	2022 年 10 月 1 日～2023 年 10 月 31 日の当院回復期リハビリテーション病棟入院患者 416 名のうち、急性増悪などで退院した患者や評価項目のデータが欠測している患者を除いた 350 名
⑤	利用の範囲	本研究で得られる情報は、本研究のみに用いられ、他の機関に提供されることはありません。
⑥	試料・情報の管理について責任を有する者	
⑦	オプトアウト掲載期間	
⑧	問い合わせ先	総合リハビリテーションセンター・みどり病院 リハビリテーション科 谷口憲央 〒950-0983 新潟市中央区神道寺 2-5-1 TEL：025-244-0080

※入院時訪問指導加算の概要

患者に適したリハビリテーションを提供するため、患者の自宅等を訪問し、退院後の住宅環境を評価した上で、リハビリテーション総合実施計画書を作成した場合の評価を新設する。

①入院前後 7 日以内の訪問に限る。

②回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する患者に対して、医師、看護師、PT/OT/ST の少なくとも 1 名以上が必要に応じて社会福祉士等と協力して、退院後生活する自宅等を訪問し、退院後生活する住環境等の情報収集及び評価を行った上で、リハビリテーション総合実施計画書を作成した場合に算定する。